

不登校児童生徒に係る特別の教育課程ワーキンググループ 資料



宮城県 白石市立白石南小学校・白石南中学校
(通称:白石きぼう学園) 校長 我妻 聡美

入学前の児童生徒の状況

- ほぼ全欠（数年、学校に向かえない）
- 外出ができず家庭内に居る
- 家族以外の人と話をしていない
- ゲームやSNSに夢中、依存している等の状況から昼夜逆転の生活をしている
- 別室、通級教室に通えることはあっても休みがちである
- 集団になじめない
- ざわつきが気になる
- 人間関係の構築が難しい
- 対話が苦手である
- 自分は「●●ができないのではないかと不安になる
- 学習への不安がある（勉強が分からない）等

白石きぼう学園の他校とは違う特別な学び

「自分のペース」を最大限尊重

- 登校時刻：9時20分（カウンセリング等）
- 下校時刻：（小）2時50分、（中）2時50分
- 午前：3時間授業、午後：2時間授業
- ◎授業中のクールダウンもOK（支援員等の配置）
（別室や図書ブースなどでの休息・気分転換を可能）

「個別な学び」で基礎学力の保障

- 「白石タイム」の実施
 - * 白石きぼう学園が新設した教科の時間
 - * 週4時間設定（小学校2年生以上） → 小1は週3時間
 - * 一人一人の状況に合わせた学び直しの時間
「未学習」や「苦手内容」に対応（人的支援の充実）

学校内外での 豊かな体験活動の機会を確保

- 児童生徒の興味・関心に基づく探究活動
（総合的な学習の時間）
 - * 「夢スタジオ」を週3時間設定
 - * 得意や興味・関心に基づき、自分のテーマにじっくり取り組み得意を伸ばす
- 人との関わりを重視した活動の導入
 - * 「探究の対話（p4c）」導入（指導員）
 - * 食を主とした地域との交流による活動の実施（月2回の昼食づくり）
- 校外体験学習の導入
 - * 児童生徒自らが計画を立て実施する体験活動の実施
 - * 地域や企業、協力団体等の力を導入した体験活動の実施

個別の指導計画

【内容】

1 児童生徒本人の思い

2 保護者の願い

3 児童生徒の実態

- ・家庭での様子（好きなこと・得意なこと 嫌いなこと・苦手なこと）
- ・学校での様子（好きなこと・得意なこと 嫌いなこと・苦手なこと）

4 合理的配慮

5 支援の目標

- ・長期目標
- ・短期目標

6 教科／領域別の目標・指導内容

本校の児童生徒は特別支援教育の手法をもとに
「個別の指導計画」「個別の教育支援計画」を
作成している。

別紙資料

「個別の指導計画」資料Ⅰ
をご覧ください

白石タイム（基礎学力の保障）学び直しの時間

白石タイム

一人一人の学習の状況を把握し「学び残し」や「つまずき」について重点的に支援する

- 1 児童生徒との面談
（教科や内容の聴き取り・学習傾向の把握・担任からのアドバイス）
 - 2 面談内容をもとに白石タイムの計画立案
 - 3 週4時間の「白石タイム」を全校同じ時間に設定
 - 4 教科担当・学年担当との打合せ
 - 5 学習進捗・定着度の見取り（ICT等）
- ※1 個人ファイルの活用
- ※2 「削減された学習内容を補って、学習指導要領の目標や内容を達成させるための工夫」を活用

白石タイム（基礎学力の保障）学び直しの時間

（例）小3児童の「白石タイム」国語 では

- ・ I C T を活用し主語や述語の関係、指示する語句と接続する語句の役割、敬体と常体との違い等の学習
- ・ 文章を書く時間を計画的に設定
- ・ 説明的な文章や文学的な文章を取り扱う時間を計画的に設定 など が示されている ※2

教科/領域別の目標・指導内容

教科・領域等	今学期の目標	指導場面	指導内容・手立て
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・ 意味や読みの理解のため、絵や写真をヒントにしながら、小学校3年生相当の漢字を5割程度読む ・ 順接の接続語「それで」「だから」などを用いて因果関係や時系列にそって文章を書く 	教科の時間 （国語・白石タイム） 朝の会・帰りの会	<ul style="list-style-type: none"> ・ ひらがな表・カタカナ表・九九表など確認が必要な児童生徒にはいつでも見られるように用意する ・ 「いつ」「だれが」「どこで」など作文の手がかりとなる5W1Hをあらかじめ記入されたカードやワークシートを用意する ・ 「はじめに」「つぎに」などの接続詞を使い、話の順序をわかりやすく書かせる
算数	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1けたまでの数同士のかけ算を計算する ・ あまりのないわり算の計算をする 	教科の時間 （算数、白石タイム）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 九九を暗唱し、問われたら書いたり口頭で答えたりする ・ 式の通りに具体物/半具体物を操作する

備考

この内容を苦手と感じ「白石タイム」で支援している

「白石タイム」で基礎的な学力の保障 児童生徒の姿

今の児童生徒の姿・声

- 「1対1での学び」で理解・学ぶ姿勢の向上 (先生は分かるまで教えてください！)
- 学ぶ意欲の高まり (分からないところが分かった！→次はここを克服します！)
- 学び合いのスタイルも習慣に (学年関係なく勉強することも楽しいです！)
- 中学3年生は全員 高校進学 (高校に行くことにしました！ 親子でオープンスクールへ)

自分に合った勉強だから 分かる！楽しい！



夢スタジオ（体験活動の機会の確保）

夢スタジオ

子供たちの得意や興味・関心に基づく探究活動、人との関わりを重視した活動、校外体験学習を行う

- 1 「子供たちのしてみたいこと」「教員のさせてみたいこと」の把握
（日常の対話・授業中・生活アンケート等から）
- 2 教員間で「してみたいこと」「させたいこと」の共有
- 3 子供たちとの話合い（子供たちとの役割分担）
- 4 活動実施に向けた協力体制の確認（保護者・地域・企業等）

※ 保護者メールでの連絡（参加希望）

※ 活動後の振り返り（協力者への御礼状・感想カード等）

「夢スタジオ」で体験活動の機会 児童生徒の姿

今の児童生徒の姿・声

- みんなで！ （みんなで取り組むことが楽しい、友達と一緒にやってみたい！）
- 安心できる友達、教員、大人がいる空間 （分かるように教えてくれるので楽しい！）
- 興味を持てる魅力的な体験 （次はこんなことをしたい！調べたことを実際に体験したい！）
- 体験したことの満足感 （自分もできるようになった、やってよかった！ の積み重ね）
- 大人との関わりから学ぶコミュニケーション力 （感謝の思いや言葉＋次への活動意欲向上）
- 将来を考える （職場体験に行きたい！働いている人の話を聞きたい！）

みんなと一緒に活動 楽しい！



お仕事探検隊in白石



自然の家へGO



職場体験



干し柿作り

「夢スタジオ」で体験活動

資料 2

夢スタジオの活動計画
をご覧ください

「子供たちのしてみたいこと」
「教員のさせてみたいこと」を
まとめ、4～3月までの活動計画
を立てました（令和6年度）

資料 3

2学期の振り返り
をご覧ください

2学期の「夢スタジオ」の振り返り

13の体験活動について
①参加不参加 ②充実感 ③達成感
④協力 ⑤自分の成長
を自己評価したもの
（令和6年度の10～3月）

特別の教育課程編成・実施に向けて

【教育内容】

- ・教育課程の編成に当たっては、長期・短期の目標を設定したうえで、日々状況が変わり得る不登校児童生徒の状態を踏まえて、柔軟に目標や取組内容を変更しながら、取り組める仕組みとすることが必要。
- ・その際、不登校児童の「自分のペース」を尊重し、「自分に合った」学習内容となることが望ましい（実施内容については、各学校の体制や環境等に応じて各学校長が判断）。
- ・「夢スタジオ」のような各教科等に位置付けた取組や、「白石タイム」のような不登校児童生徒の実態に応じた教育活動などを柔軟に組み合わせながら、各学校の創意工夫による取組を推進できる仕組みとすることが必要。

【授業時数】

- ・学びの多様化学校については、学校単位の特例であることから、学校の体制や教育内容等を踏まえつつ、年間の授業時数を設定しているものの、新たな仕組みについては、個々の不登校児童生徒の状況に応じた特例を検討するものであることから、制度として一律に授業時数を設定することは、難しいと考えられる。
- ・このため、新たな仕組みでは、児童生徒の客観的な状態や児童生徒・保護者の意向を尊重しながら、個々の状況に応じた授業時数を設定したうえで、不登校児童生徒の状態を踏まえつつ、適宜見直しを図ることが出来る柔軟な仕組みとするべき。

【参考資料1】個別の指導計画

個別の指導計画【後期】

作成者：

作成日：

児童生徒基本情報

児童生徒名	性別	学年	クラス・学級名
		3年	1組

願い

児童生徒 本人の願い	自然が多く人数が少ない環境で気軽に楽しく学校に通いたい。自分が帰りたい時に早退することができるように対応してほしい。皆と同じ活動なるべく同じ空間で行いたい。高校進学を達成したいと考えている。	保護者の 願い	学校内で精神的に成長して家庭内で癇癪を起こす頻度を減らしてほしい。本人のペースで勉強させていきたい。人と関わらせるために校外学習や全校生徒で活動する行事に積極的に参加させたい。
---------------	---	------------	--

児童生徒の実態

家庭での様子

好きなこと 得意なこと	自宅で過ごすことが好き。動物の世話を毎日行う。他人への気遣いが出来る。ローマ字のタイピングが得意。ゲームが好き。休日に友だちと出かけることがある。
嫌いなこと 苦手なこと	初対面の相手と会話することが苦手。家庭では癇癪持ちである。教科では数学や英語に苦手意識がある。見通しの持てない活動や長時間じっと集中していることが苦手。

学校での様子

好きなこと 得意なこと	身体を動かすことが好きで、体育に積極的に取り組むことができる 給食を残さず食べることができる 休み時間に好きなことをしてリフレッシュすることができる 一度決めたことやマイルールを最後までやり通すことができる 自分の苦手を認識して、自分から先生や友だちに助けを求めることができる
嫌いなこと 苦手なこと	読むこと・書くことを極端に嫌がる 文字を書くのが苦手（例：文字が整わないなど） 新しい環境や予定の変更に対応することが苦手 身体的・精神的に疲れた際にリフレッシュできない 気持ちのコントロールが苦手

合理的配慮

- ・本人の気持ちや意向に常に耳を傾け、受け止めたらうで助言する。
- ・できたことやがんばったことを積極的にほめる。
- ・進路に関して本人の意思を尊重する。
- ・学習方法を助言する。

個別の指導計画【後期】

作成者：

作成日：

支援の目標

長期目標	・進級・進学や日常生活に生かすために、基礎的な学力を身に付ける ・自分の障害についての理解を深め、生活の上で適切な技術や対処法を学ぶことができるようになる ・集中して最後まで活動に取り組むことができるようになる
短期目標	・説明や意思表示のために文章を構成することができるようになる ・日常的なセルフケアや、体調不良時に体調回復に向けた行動を取り、健康を維持することができるようになる ・自分の感情の様子や表現方法を理解し、感情や思考とうまく付き合うことができるようになる



教科/領域別の目標・指導内容

教科・領域	今学期の目標	指導場面	指導内容・手立て
白石タイム (国語)	書ける漢字を増やすこと 振り仮名やお礼状を書くときに、 覚えた漢字を使うこと	週4時間の白 石タイム イベントの振 り仮名	書けるかどうかを確認 書けないものは練習する 覚えている漢字や書ける漢字があればほめたり、どんな時に使える漢字かを話題にして励ましたりする。
白石タイム (英語)	1・2年生の単語の意味やスペル を身に付ける 3年生の授業で、覚えた単語の知 識を生かしていく	週4時間の白 石タイム 英語の授業	簡単に頻繁に使う語句から練習し、セルフチェックテストを行う どんな場面で使えるかを助言し、覚えた単語を使うように英語の 授業でも励ます

備考	白石タイムでの学習による変容 【国語】 文字の大きさや形を整えることができるようになり、文や文章を書くことができるようになってきた。 ふだんから、できるだけ漢字で書こうとする意識が高まった。 【英語】 分かる英語が増えて自信がつき、授業での発言も増えた。 知っている語句の意味やスペルを友人に教えたり、授業での表現活動に活用したりできた。
----	---

私は、以上の計画内容について、

- ☐ 記載されている情報を確認しました
- ☐ 記載されている情報を支援関係者と共有することに同意します
- ☐ 記載されている情報を進学先等に引き継ぐことに同意します

署名年月日	年 月 日	名前	
-------	-------	----	--

【参考資料2】夢スタジオ活動計画

2 活動計画

月	小学生	中1	中2	中3	季節の行事、昼食会等
4月	こけし絵付け				お花見昼食会
5月	白石まち歩き		仙台自主研修		こどもの日 山菜取り 昼食会 苗植え
6月	個人研究				昼食会 苗植え、草取り
7月	個人研究				七夕まつり 昼食会 夏休みイベント
8月					夏休みイベント
9月	6年 修学旅行			修学旅行	夏野菜収穫 お月見集会 昼食会
10月	蔵王自然の家体験活動				ハロウィンパーティー 昼食会
11月	職業についてのお話を聞く会				焼き芋大会
	工場見学		職場体験学習		昼食会 干し柿作り
12月	ユウキ食品調理実習				クリスマス会 昼食会
1月	個人研究				新年会 昼食会
2月	個人研究				節分集会 チョコレート作り 昼食会
3月					ひな祭り集会

【参考資料3】2学期の夢スタジオの振り返り

白石きほう学園 2学期の振り返り

小・中 () 年 名前

26名回答/35名 うち中学生18名 小学生8名

1 2学期の夢スタジオについて

(1) 体験活動 *「参加」なら、A、B、C、Dのうち一つに丸をつけよう。

A:とてもそう思う B:そう思う C:あまりそう思わない D:そう思わない

イベント名	参加・不参加	A	B	C	D
ハロウィンパーティ	参加・不参加	12	9	14	7
チャーハン	参加・不参加	13	8	15	5
さつまいも収穫	参加・不参加	5	6	5	5
収穫祭(さつまいも)	参加・不参加	8	4	8	5
職業人の話を聞く会	参加・不参加	3	5	4	6
中・職体験学習	参加・不参加	11	5	14	4
クリスマスクッキー作り、コンサート	参加・不参加	12	5	12	4
ユウキ食品調理学習	参加・不参加	9	6	8	8
白石和紙ジャケット制作	参加・不参加	13	8	11	11
きぼうオリジナルかるた大会	参加・不参加	6	7	6	7
部発表会	参加・不参加	1	12	2	11
チョコレート作りを伝える会	参加・不参加	12	5	12	5
ひな飾り制作	参加・不参加	5	8	4	10

楽しかった。来年はもっと参加したい。クッキーとチョコ作りが楽しかった。雛飾りをていねいに作った。職場体験が印象に残った。楽しいときもあった。色々食べられて最高。活動を通して学べることもあって楽しかった。何事にも楽しく取り組めたと思う。もっと全力でやればよかった。楽しい一年だった。家でも明るくなったと言われる。たくさん参加できてよかった。かるたの発想がおもしろかった。

(2) 個人研究

① 自分が興味を持っていることをテーマにすることができた。

自分のテーマ「 」

A 16 B 7 C 4 D 0

② 知りたいことや気になったことを調べることができた。

A 19 B 4 C 1 D 2

③ 調べたことや自分の考えをまとめることができた。

まとめの方法「 」

A 15 B 5 C 2 D 4

休んでまとめるしなかった。難しかった。興味のあることを調べられてよかった。先生と話しながらできた。休んでできなかった。発表は難しかった。楽しかった。好きなものを探究できてよかった。しっかり発表することができた。興味を持って調べることができた。テーマについてよく知れた。満足のいく個人研究ができた。次はタブレットを使ってみよう。

2 白石タイムについて

① 面接では、自分の学習を振り返ったり課題を見つかったりすることができた。

A 9 B 11 C 4 D 2

② 学習時間や学習量など、学習に十分に打ち込めることができた。

A 8 B 12 C 3 D 3

③ 分からなかったことや苦手なことを解決することができた。

A 6 B 10 C 7 D 3

④ 苦手な学習について、少しでも前向きな気持ちになった。

A 7 B 9 C 5 D 5

少しは漢字ができるようになったと思いたい。がんばった。漢字検定のために。地理が楽しかった。授業でやったことを思い出せた。英語は難しい。集中してできた。漢検がんばった。前は分からなかったところも少しずつできるようになった。理科がすごく伸びた。数学をがんばった。苦手を克服した。入試で役立った。あきらめなくて問題に取り組めてよかった。できないことも多いけど、少しでも分かってうれしかった。

3 生活面について

① 「自分」「相手」「もの」を大切に生活できた。

A 10 B 13 C 3 D 0

② 時間やルール、マナーを守って安全に生活している。

A 9 B 8 C 9 D 0

③ 睡眠、食事、運動など、健康を考えた生活をしている。

A 6 B 13 C 4 D 3

④ クラスメイトや友達、先生などとコミュニケーションを深めることができた。

A 9 B 14 C 3 D 0

充実感がなかった。マナーを守って安全に生活できた。ほんの少し成長した気がする。健康は悪化している気がする。クラスの人と1回は話せている。最近の寝る時間が遅くなることも多いので、なるべく早く寝るようにしたい。春休み中に生活習慣を直したい。自分が変わったって気付いたのがよかった。規則正しい生活をした。ゲームの時間が減った。コミュニケーション力が上がった。みんなと楽しく過ごせた。